

安全データシート (SDS)

作成日: 2007年5月23日
改定日: 2024年2月27日

【1. 化学品及び会社情報】

化学品の名称	軽焼マグネサイトKDB
会社名	ソブエクレイ株式会社
住所	名古屋市中港区新船町2-1-4先
電話番号	052-654-1333
FAX番号	052-654-1260
緊急連絡電話番号	052-654-1333
推奨用途	アルカリ剤、肥料苦土原料
使用上の制限	特になし

【2. 危険有害性の要約】

GHS分類

物理化学的危険性

爆発物	区分に該当しない
可燃性ガス	区分に該当しない
エアゾール	区分に該当しない
酸化性ガス	区分に該当しない
高压ガス	区分に該当しない
引火性液体	区分に該当しない
可燃性固体	区分に該当しない
自己反応性化学品	区分に該当しない
自然発火性液体	区分に該当しない
自然発火性固体	区分に該当しない
自己発熱性化学品	区分に該当しない
水反応可燃性化学品	区分に該当しない
酸化性液体	区分に該当しない
酸化性固体	区分に該当しない
有機過酸化物	区分に該当しない
金属腐食性化学品	区分に該当しない
鈍性化爆発物	区分に該当しない

健康有害性

急性毒性(経口)	区分に該当しない
急性毒性(経皮)	区分に該当しない
急性毒性(吸入: 気体)	区分に該当しない
急性毒性(吸入: 蒸気)	区分に該当しない
急性毒性(吸入: 粉じんまたはミスト)	区分に該当しない
皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2
呼吸器感作性	区分に該当しない
皮膚感作性	区分に該当しない
生殖細胞変異原性	区分に該当しない
発がん性	区分1A(結晶質シリカ)
生殖毒性	区分に該当しない
生殖毒性・授乳に対する又授乳を介した影響	区分に該当しない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分3
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分に該当しない
誤えん有害性	区分に該当しない

環境有害性

水生環境有害性(急性)	分類できない
水生環境有害性(慢性)	分類できない
オゾン層への有害性	区分に該当しない

ラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語
危険有害性情報(コード)
注意書き(コード)

危険
H319, H335, H350
P201, P202, P280, P308, P313
P261, P264, P271, P280, P305
P338, P351, P313, P337, P501
P304, P340, P312, P405

【 3.組成及び成分情報 】

化学物質・混合物の区別
化学名
化学式
危険有害成分

化学物質

酸化マグネシウム

MgO

粉体のため粉塵障害防止則の対象となるが、特定の分類・番号はない。石英が0.1～5.0%含有するおそれがある。

1309-48-4

酸化マグネシウム (1)-465

CAS番号

官報公示整理番号

(化審法・安衛法)

分類に寄与する不純物及び

安定化添加物

濃度又は濃度範囲

データなし

データなし

【 4.応急措置 】

吸入した場合

大量の粉塵が発生して、気管支に刺激がある場合には、速やかにその場所から離れてきれいな空気を吸い込むと、咳払い・痰・くしゃみ・呼吸困難は解消する。大量の粉塵を吸入した場合や、気分が悪い時は医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

皮膚が乾燥した場合には、通常の加湿クリームを使う。傷に粉末がふれた場合には、中性洗剤が水で洗浄する。刺激はほとんどないがもし刺激等があれば、医師の診断を受ける。

目に入った場合

直接目に入ると刺激痛がある。速やかに水で洗い流す。洗浄後も痛みや目の赤みがとれない場合には、医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合

特に悪影響はないので、処置の必要はない。

予想される急性症状

吸入：咳、咽頭痛

及び遅発症状

最も重要な兆候及び症状

特になし

【 5.火災時の措置 】

消火剤

この製品自体は、燃焼しない。
周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。

使ってはならない消火剤

特になし

特有の危険有害性

特になし

特有の消火方法

特になし

【 6.漏出時の措置 】

人体に対する注意事項、保護具
及び緊急時措置

粉塵濃度が暴露限界を超える場合には、防塵マスク(国家検定合格品)を着用する。

環境に対する注意事項

環境中に放置しない。粉塵が飛散しないよう注意する。

回収、中和

作業場に漏洩した場合には、ショベルで回収あるいは掃除機で吸引する。製品がきれい乾燥していれば適当な容器に入れて廃棄する。

水洗は製品が少量であれば問題ない。

製品が水に反応して熱を発する場合があるので注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機材

危険でなければ漏れを止める。

二次災害の防止策

床面に残ると粉塵が発生したり、すべる危険性があるので、こまめに回収する。

【 7.取扱い及び保管上の注意 】

取扱い

技術的対策

局所排気・全体換気

必要に応じて防塵マスク、防塵眼鏡を着用する。

必要ならば粉塵濃度を推奨暴露限界値以下に保つために、局所排気設備を設置または全体換気を適切に行なうことが望ましい。

安全取扱い注意事項

濡れると凝固することがあるので、濡らさない様にする。

保管

技術的対策

混触危険物質

保管条件

容器包装材料

製品が水に反応して熱を発する場合があるので注意する。

粉塵の発生を防止し、倉庫内でパレット上にて保管する。

特になし

粉が付着していると滑りやすいので荷崩れに注意する。

特になし

【 8.暴露防止及び保護措置 】

管理濃度	設定されていない。
許容濃度(暴露限界値、 生物化学的暴露指標)	
日本産業衛生学会(2019年度)	第3種粉じん 吸入性粉じん 2mg/m ³ 総粉じん 8mg/m ³
設備対策	粉塵が作業場所を汚染しないように、設備の密閉化・局所排気装置の設置または全体換気を適切に行なうことが望ましい。
保護具	呼吸器の保護具 必要に応じて適切な保護手袋を使用する。 必要に応じて適切な安全メガネを使用する。 必要に応じて適切な保護衣を使用する。 取り扱い後は手を洗うこと。
	手の保護具 必要に応じて適切な安全メガネを使用する。
	眼の保護具 必要に応じて適切な安全メガネを使用する。
	皮膚及び身体の保護具 必要に応じて適切な保護衣を使用する。
衛生対策	取り扱い後は手を洗うこと。

【 9.物理的及び化学的性質 】

物理状態、色	薄ピンク～薄黄茶色粉末
臭い	無臭
融点／凝固点	融点2850℃
沸点、初留点及び沸点範囲	沸点3600℃
可燃性	なし
爆発下限及び爆発上限／可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	なし
分解温度	データなし
pH	11.0
動粘性率	データなし
溶解度	0.0009gr/100gr・H ₂ O
n-オクタノール／水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	3.3
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

【 10.安定性及び反応性 】

反応性・化学的安定性	常温・常圧下で安定。
危険有害反応可能性	特になし
避けるべき条件	粉塵の拡散。
混触危険物質	酸
危険有害な分解生成物	特になし

【 11.有害性情報 】

急性毒性	データなし
皮膚腐食性／刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性、単回ばく露	データなし
特定標的臓器毒性、反復ばく露	データなし
誤えん有害性	データなし

【 12.環境影響情報 】

生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有毒性	データなし

【 13.廃棄上の注意 】

残余廃棄物	一般産業廃棄物として地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処置を行う。

【 14.輸送上の注意 】

国連番号	該当なし
国連分類	該当なし
海洋汚染物質	非該当
国際規制 海上・航空規制情報	非危険物
国内規制 陸上規制情報	非危険物
海上・航空規制情報	非危険物
特別の安全対策	水濡れ・転倒・落下・損傷がないように積載し、荷崩れ防止を行う。

【 15.適用法令 】

労働安全衛生法	粉塵障害防止規則（第二条関係別表第一に掲げる作業） 表示・通知対象物質（別表第9 165-2 結晶質シリカ） 作業記録等30年保管対象のがん原生物質（結晶質シリカ）
じん肺法	
作業環境測定法	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	
輸出貿易管理令	別表1の16項（キャッチオール規制） 第25類 土石類
その他、地方自治体の関連法規制	

【 16.その他の情報 】

PRTR法	第1種指定化学物質及び第2種指定化学物質には該当しません。 （平成20年11月21日に公布された政令に対応）
アスベスト	厚生労働省発布の平成18年8月28日基安化発第0828001号 『天然鉱物中の石綿含有率の分析法について』で示される方法で 石綿含有率0.1重量%を超えていません。

本データシートは、本製品の工業的な一般的な取扱いについて最新の情報を集めたものでありますが、完璧なものではありません。又、本データシートは、保証書ではありません。新たな情報を入手した場合は追加又は訂正されることがあります。本製品に他の化学物質を混合したり、特殊な条件で使用するときは、ご需要家各位が安全性の評価を実施し、自らの責任において個々の取扱い等の実態に応じた適切な措置をお取り下さるようお願い致します。